

SVMCtl のリリースノート

2023/02/21

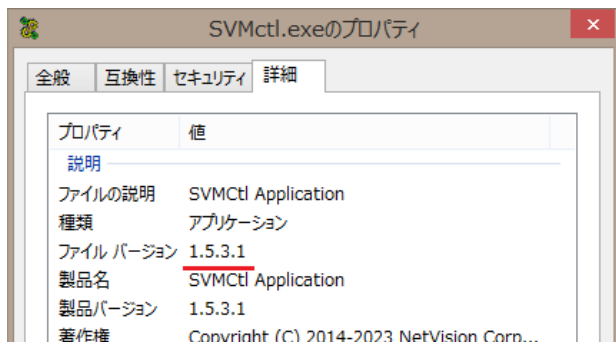
NetVision

1 概要

この資料では、SVM ボード用ユーティリティソフト「SVMCtl」のバージョンアップ内容について記述します。2021 年 6 月以前のバージョンアップ履歴については、個別にお問い合わせください。

1.1 バージョン番号

NVCap のバージョン番号は、SVMCtl.exe のプロパティを参照してください。



2 SVMCtl のバージョンアップ履歴

v1.4.8.0	22/6/7	
内容： 設定ファイルに I2C の NACK を無視して次の行以降の継続する “IGNORE” コマンドを追加しました。 2 系統の出力を持つボードを認識したとき、2 系統の Clipping 領域を設定可能にしました。		

v1.4.9.1	22/8/5	
内容： SPI-ROM に書き込まれた Board ID を Board Select Dialog とウィンドウタイトルに表示しました。		

v1.4.9.2	22/8/9	
内容 : SV0-03 HDMI モードを開いたとき、Warning が表示される問題を修正しました。		

v1.4.9.3	22/9/22	
内容 : CKIN 出力の周波数設定を指定しないとき、CKIN 出力が止まる問題を修正しました。		

v1.4.9.4	22/9/30	
内容 : 起動時の Board Select ダイアログで SVI-09 と類似基板の Board ID が正しく反映されない問題を修正しました。		

v1.4.9.5	22/10/14	
内容 : - SVP-01-U の DP モードで起動時にユーザ解像度のタイミング設定データを書き込み可能にしました。 - DP 対応ボードが認識されたときの設定項目名を HDMI から DP に変更しました。		

v1.4.9.6	22/10/25	
内容 : - SVP-01-G USB モードの定義を追加しました。		

v1.4.9.7	22/10/28	
内容 : - SVI-09 ボードで I2C Init. Data が正しく読み込めない問題を修正しました。		

v1.5.0.0	22/12/16	
内容 : - Range Setting が正しく反映されない問題を修正しました。 - SVP-01-G の各モードの定義を追加しました。		

v1.5.1.0	23/1/24	
内容 : - VCID Filter 設定を追加しました。 - SVM-06 HDMI モードの RAW -> Grayscale 変換機能を手動で設定するための設定を追加しました。 - 不正な SPI-ROM 領域が書き換えられることを防ぐために、SPI-ROM の書き換え時に、毎回ボードの種類を確認する処理を追加しました。		

v1.5.2.0	23/1/25	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> - コマンドラインで起動するオプションを追加しました。 <p>「-file [filename]」で起動すると、最初に認識された基板に対して、I2C 設定ファイルを送信します。</p> <p>ダイアログは表示されず、全てのエラーは無視されます。正常終了した場合、0 を返します。</p>		

v1.5.3.0	23/2/13	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> - Sysclk Match Error が検出されたあと「書き込みに成功しました」というメッセージが表示される動作を、エラー発生メッセージに変更しました。 - DisplayPort 対応ボードの SVMInfo 画面の対応を追加しました。 		

v1.5.3.1	23/2/21	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> - EDID の末尾 12 バイトが書き込めない問題を修正しました。 <p>(CEA Extension 使用時に NG となります。Extension 未使用時は影響ありません。)</p>		